



日本医師連盟
推薦

「羽生田たかし」氏当選

第25回参議院議員通常選挙投票結果

令和元年7月21日(日)

に、投票のあった第25回参議院議員通常選挙比例代表において、自由民主党公認、日本医師連盟の組織内候補の羽生田たかし候補が2期目の当選を果たした。再選した羽生田たかし先生は、「この先、成し遂げなければならないことがある。議席をいただいた、これから6年間、日本医師会・日本医師連盟としっかり連携をとりながら、国民のため、そして会員のため、仕事をしたい」と抱負を語った。

日本医師連盟の横倉義武委員長は、「社会保障関係の候補者が多数立候補した厳しい選挙だった」とこの度の参院選を振り返り、羽生田たかし先生の2期目の当選を果したものの、前回選挙時よりも獲得票数が激減したことを受け、医政活動を抜本的に見直すとした。

自民党比例代表当選者の獲得得票数

		候補者		得票数
1	当	三木 亨	現	特定枠
2	当	三浦 靖	新	特定枠
3	当	柘植 芳文	現	600,189
4	当	山田 太郎	元	539,566
5	当	和田 政宗	現	288,080
6	当	佐藤 正久	現	237,432
7	当	佐藤 信秋	現	232,548

		候補者		得票数
8	当	橋本 聖子	現	225,617
9	当	山田 俊男	現	217,619
10	当	有村 治子	現	206,221
11	当	宮本 周司	現	202,122
12	当	石田 昌宏	現	189,893
13	当	北村 経夫	現	178,210
14	当	本田 顕子	新	159,596

		候補者		得票数
15	当	衛藤 晟一	現	154,578
16	当	羽生田 俊	現	152,807
17	当	宮崎 雅夫	新	137,502
18	当	山東 昭子	現	133,645
19	当	赤池 誠章	現	131,727

2019. 8.22
第 33 号

定価 1年400円
(但し県医連会費に含む)

広島県医師連盟ニュース
発行所
広島県医師連盟
〒732-0057
住所 広島市東区二葉の里三丁目2番3号
TEL 082(568)1522
FAX 082(568)1523

都道府県別得票数順

		得票数
1	群馬県	22,047
2	福岡県	16,115
3	東京都	11,337
4	神奈川県	6,288
5	愛知県	5,952
6	静岡県	5,025
7	熊本県	5,004
8	兵庫県	4,741
9	大阪府	4,538
10	埼玉県	4,489
11	鹿児島県	4,140
12	岐阜県	3,905

		得票数
13	長崎県	3,475
14	宮城県	3,131
15	北海道	2,920
16	千葉県	2,774
17	広島県	2,658
18	山口県	2,319
19	石川県	2,299
20	茨城県	2,229
21	宮崎県	2,170
22	岡山県	2,084
23	栃木県	1,929
24	愛媛県	1,929

		得票数
25	岩手県	1,868
26	秋田県	1,825
27	京都府	1,781
28	大分県	1,663
29	佐賀県	1,646
30	長野県	1,599
31	福島県	1,555
32	奈良県	1,513
33	山梨県	1,456
34	沖縄県	1,398
35	富山県	1,214
36	新潟県	1,210

		得票数
37	鳥取県	1,209
38	香川県	1,141
39	福井県	1,084
40	山形県	1,068
41	三重県	1,032
42	徳島県	988
43	島根県	975
44	滋賀県	889
45	高知県	824
46	和歌山県	686
47	青森県	663

都道府県別得票数調

	A①会員	得票数	会員1人当たり得票数
北海道	2,229	2,920	1.31
青森県	670	663	0.99
岩手県	682	1,868	2.74
宮城県	1,456	3,131	2.15
秋田県	596	1,825	3.06
山形県	678	1,068	1.58
福島県	1,076	1,555	1.45
茨城県	1,385	2,229	1.61
栃木県	1,154	1,929	1.67
群馬県	1,298	22,047	16.99
埼玉県	3,549	4,489	1.26
千葉県	2,938	2,774	0.94
東京都	9,911	11,337	1.14
神奈川県	5,460	6,288	1.15
新潟県	1,238	1,210	0.98
富山県	684	1,214	1.77
石川県	701	2,299	3.28
福井県	449	1,084	2.41
山梨県	532	1,456	2.74
長野県	1,224	1,599	1.31
岐阜県	1,284	3,905	3.04
静岡県	2,249	5,025	2.23
愛知県	4,635	5,952	1.28
三重県	1,188	1,032	0.87
滋賀県	842	889	1.06

	A①会員	得票数	会員1人当たり得票数
京都府	2,159	1,781	0.82
大阪府	7,543	4,538	0.60
兵庫県	4,545	4,741	1.04
奈良県	1,037	1,513	1.46
和歌山県	909	686	0.75
鳥取県	399	1,209	3.03
島根県	475	975	2.05
岡山県	1,348	2,084	1.55
広島県	2,273	2,658	1.17
山口県	1,081	2,319	2.15
徳島県	642	988	1.54
香川県	722	1,141	1.58
愛媛県	1,040	1,929	1.85
高知県	496	824	1.66
福岡県	3,926	16,115	4.10
佐賀県	636	1,646	2.59
長崎県	1,173	3,475	2.96
熊本県	1,308	5,004	3.83
大分県	875	1,663	1.90
宮崎県	788	2,170	2.75
鹿児島県	1,168	4,140	3.54
沖縄県	763	1,398	1.83
その他	-	-	-
総計	83,414	152,807	1.83

広島県内得票数

市町名	得票数
県計	2,658
市計	2,556
町計	102
広島市計	1,111
呉市	290
竹原市	71
三原市	52
尾道市	150
福山市	313
府中市	24
三次市	64
庄原市	35
大竹市	28

市町名	得票数
東広島市	188
廿日市市	188
安芸高田市	21
江田島市	21
市計(広島市除く)	1,445
府中町	51
海田町	11
熊野町	7
坂町	16
安芸太田町	0
北広島町	10
大崎上島町	2
世羅町	4
神石高原町	1

※案分票は切り捨て

第25回参議院議員通常選挙 羽生田たかし候補

総決起大会

令和元年7月13日(土)午後7時より、リーガロイヤルホテル広島において、第25回参議院議員通常選挙 羽生田たかし候補総決起大会を開催した。

当日は、広島県医師連盟の津谷隆史副委員長が司会進行を務めた。

広島県医師連盟の豊田秀三副委員長が開会の辞を述べ、続いて、広島県医師連盟の平松恵一委員長と日本医師連盟の江澤和彦執行委員が主催者を代表し挨拶した。その後、自由民主党広島県支部連合会の宇田伸幹幹事長、広島市議会の平野 太祐議員から激励挨拶があり、広島県医師連盟各区責任者から応援演説があった。

最後に羽生田たかし候補の決意表明があり、広島県医師連盟の菅田 巖副委員長の「がんばろうコール」後、閉会した。

平松恵一広島県医師連盟委員長挨拶(要旨)



第25回参議院議員通常選挙の投票日まで、残すところ1週間となり、選挙戦もまさに正念場を迎えた。今回の参議院議員通常選挙は、今後、さらなる少子高齢社会を迎える中で、国民皆保険制度の堅持はもとより、「社会保障の充実」「消費税問題の抜本的解決」など課題が山積する中で、極めて重要な選挙となる。

われわれ医師にとって、来年の診療報酬改定はもとより、働き方改革や医師偏在の問題、医療

医療を堅持するためには、われわれ医師による政治の場での発言力の確保が絶対に必要である。

そのためには、是非ともわれわれの組織内候補である「羽生田たかし先生」には、社会保障関係でトップ当選を果たしていただく必要がある。

今回の選挙は、羽生田たかし先生個人の闘いではなく、日本の医療はもとより、国民の生命と健康を守るかどうかの闘いである。

今こそ、われわれ、広島県医師連盟の総力を挙げて、最後まで一致団結して取り組んでいく。どうか、皆様の絶大なご支援、ご協力をお願いする。

江澤和彦日本医師連盟常任執行委員(要旨)



本日、総決起大会を開催していただいたことに感謝する。昨日は、羽生田たかし先生と一緒に岐阜県の決起集会に参加した。現在、横倉義武日本医師連盟委員長をはじめ、日本医師連盟役員が全国を廻っている状況であり、最後のラストスパートといえる。

今回は、6年前に比べて非常に厳しい状況であるため、皆様に手厚いご支援をお願いする。

羽生田たかし先生の得票数によって立場、発言力、そして医師会へ全て影響する。

今回の参議院議員通常選挙では、33名の比例候補者がいる。6年前は29名であり、3年前の自見先生の時は25名であった。

社会保障関係では、6年前は8名、3年前は7名に対し、今回は10名である。とても厳しい状況であり、そして選挙区が合区となっている地域の「特定枠」制度が導入されている。

社会保障関係の候補者の中で、羽生田たかし先生のトップ当選以外はあり得ず、トップ当選することが何よりも重要である。今回は、専門職に票が分散しているため、非常に危惧されている。

繰り返すが、今回は、非常に厳しい状況であり、今後、医療・介護の社会保障における厳しい財源の中でわれわれがどう立ち向かっていくのか、非常に勝負どころである。何卒、羽生田先生のご支援をお願いしたい。

宇田伸自由民主党広島県支部連合会幹事長(要旨)



広島県医師連盟の先生方には、自民党が本当に

をお願いしたい。

平野太祐広島市議会議員(要旨)



私は、広島市議会議員2期目である。広島県医師連盟の方々には、宇田幹事長からもあったが、広島県医師会が中心となり、地域包括ケアシステムの推進を率先しておられる。広島市政は、広島県医師会や市郡地区医師会にご支援いただき、地域の活動が成り立っている。選挙戦は残り1週間ある。一人でも多くの方に羽生田たかし先生の名前を知っていただくことが必要である。

まずは、投票所に行くことが必要であり、何よりも羽生田たかし先生の名前を書いていただくことが重要である。医療関係者の候補者が多い中、多くの得票数の獲得をお願いしたい。1日1日を大切に皆さまとともに頑張っていきたいと思う。

山根 基広島県医師連盟常任執行委員(要旨)



羽生田たかし先生は、日頃より、自民党副幹事長、厚生労働部会長代理、

金融委員会理事として、国会で大変精力的に活躍され、素晴らしい実績を上げておられることに心より敬意を表すとともに深く感謝申し上げます。

さて、われわれは昨年10月より、全国で200万人のサポーターを獲得を目指し活動したが、消費税増税、年金問題などの逆風の中、7月1日時点で、サポーター獲得数は449,371名、達成率は22.47%にとどまり、3年前の自見先生の762,179名(達成率38.11%)、6年前の羽生田先生1,281,819名(達成率42.73%)と比べ想像を超えた危機的状況にある。医療系トップ当選どころか当選も危うい状況かと思われる。

小泉政権より始まった「削減ありき」の社会保障が、今後とも財務省、経済財政諮問会議の主導のもと、更に厳しい風が吹くものと思われる。もちろん経済は大事だが、国の根幹をなすものは国民の命、国民の健康である。そして未曾有の高齢化社会の中、社会保障は将来にわたり大変有望なる社会資源となる。今回の選挙結果が年末から始まる診療報酬改定をはじめ、骨太の方針、消費税問題の抜本的解決など重大な政策決定に大きな影響を及ぼす。このような状況のもと、羽生田たかし先生には日本医師連盟

組織内議員として、自見はなこ先生、武見敬三先生とともに、国民の健康、そして世界に冠たる国民皆保険制度を、死守するため、是が非でも10人が乱立する医療・介護関係候補の中でトップ当選していただかなければならない。

最後になるが、大変厳しい状況で、残り1週間しかないが、A会員の先生、家族、従業員はもとより、B会員の先生方にも可能な限り働きかけ、背水の陣で最後の最後まで戦いぬく所存である。

玉木正治広島県医師連盟常任執行委員(要旨)



本日は、羽生田たかし先生の決起集会で、選挙まで残り1週間となりました。

今、応援演説された先生方のお話を伺うと、今回の選挙は、医療関係の候補者が数多く挙がっている。呉地域における医療職の社会福祉の会議に参加しているが、今回の参議院議員通常選挙が近づくにつれ、「政治は選挙なり」の姿勢で投票を呼びかけられている。その姿勢を見て、正直なところ、われわれ医師連盟組織は、一部の先生方しか興味を持っていないところがあり、その結果、

票が集まらない現状と言える。

今回の選挙は、社会保障関係の候補者が多くみられ、その中でわれわれは、日本医師連盟の羽生田たかし先生の票がどれだけ集まるのかにより、今後の医療を担う問題となってくる。

呉会員の先生方にどれくらい浸透するか分からないが、われわれは投票を呼びかけている。期日前投票も含めて「羽生田たかし」の名前をぜひ書いていただきたい。

羽生田たかし先生には、1期目の選挙時と昨年、呉へお越しいただき、われわれの地域の状況を見ていただいた。

また、昨年度は10月に日本医師連盟総決起大会が東京で開催され、総力を挙げて羽生田たかし先生を応援しているところであり、われわれも呉で、羽生田たかしと投票用紙に名前を書いていただくよう、残り1週間、最後の最後まで、会員の先生方に呼びかけをしていきたい。羽生田たかし先生には、ぜひ頑張っていたきたい。

児玉雅治広島県医師連盟常任執行委員(要旨)



私が医師連盟に関わり15年くらいが経つが、わ

れわれ医師は待っているだけの受け身の姿勢が多いと感じる。われわれ医師が、どのような医療を実現したいかを主張し、中央にその想いを届けなくてはならない。我々の想いと政治をつなげるのが、政治家の仕事の一つである。地元の政治家として、宮沢洋一先生、小林史明先生などとも情報交換はさせていただいているが、やはり、医師である羽生田たかし先生に、医師を代表する政治家として国政でわれわれ医師の想いを伝えていただきたい。私たちも最後まで応援させていただきたい。羽生田たかし先生には、残り1週間頑張ってください。

羽生田たかし参議院議員通常選挙比例代表候補(要旨)



関東地方の会長から、今回の選挙は、6年前に比べると全然「羽生田」の名前が売れていないと言われた。私なりに名前を売る努力をしていたが、売れていないと言われると思う。

6年前の選挙時は、現職の日本医師会副会長として、選挙に立候補し、副会長の羽生田の肩書きがあり、皆様に投票いただいた。

6年前の当選時から、医療を中心に社会保障、福祉等を議論する為に厚生労働委員会に所属し、2年目に理事、3年目に筆頭理事、4年目に厚生労働委員長を務めた。ポストに就くためには、得票数が重要となる。今後でもできる限り重要なポストに就きたいと思っている。

私が委員長時に、自見はなこ議員が皆様の支援で参議院議員になった。自見はなこ議員も厚生労働委員会に所属したいと希望を出したが、私も自見先生も日本医師連盟の推薦議員である為、同時に厚生労働委員になることはできないと言われた。しかし、私が委員長で発言権を持たない事が幸いし、自見議員を厚生労働委員として認めて頂くことができた。

年末には、来年度の診療報酬改定の改定率が決まる。さまざまな議論の中で、自民党が議論を行い、今年、提出した骨太方針に沿って、医療費の議論が行われる。改定率は、官邸の意向により決定し、その時の交渉は、日本医師会であり、日本医師会と官邸の交渉により、最終の診療報酬改定率が決定される。

その時に会長がどのくらい強く発言できるかが今回の選挙での得票数にかかっている。私の票は、日本医師会の票で、羽生田たかしが

何票取ったかは、私自身の票であるとは思っていない。日本医師会が安倍政権に対して、信頼を持ち、支持してきたことの結果が票として表れている。票が多いほど、横倉会長や私の意見を官邸に入れることができる。この度の、参議院議員通常選挙は各種医療関係者が多数立候補しているが、直接官邸で診療報酬などの話ができるのは、日本医師会しかない。

本日、日本医師連盟の江澤和彦常任執行委員がお越しだが、日本医師会としてしっかりと手を携えて訴えていきたいと思う。今回は、自民党公認の候補者が33名いる、その内10人が医療関係者である。群馬県では、群馬県連推薦の全国比例で候補者があり、群馬県内でも票を減らす危険がある現状であり、大変な状況である。何とか頑張りたいと思う。

投票用紙の1枚目は都道府県選挙区の投票用紙であり、2枚目は全国比例区の投票用紙である。今回の候補者は33名で、当選は多くても19名で内2名は既に決まっている。17名の中に私の名前が入っていないければならない。そういった中で2枚目の投票用紙に羽生田と書いていただかなければならない。

皆様には、是非ともご協力をよろしくお願い申し上げます。



